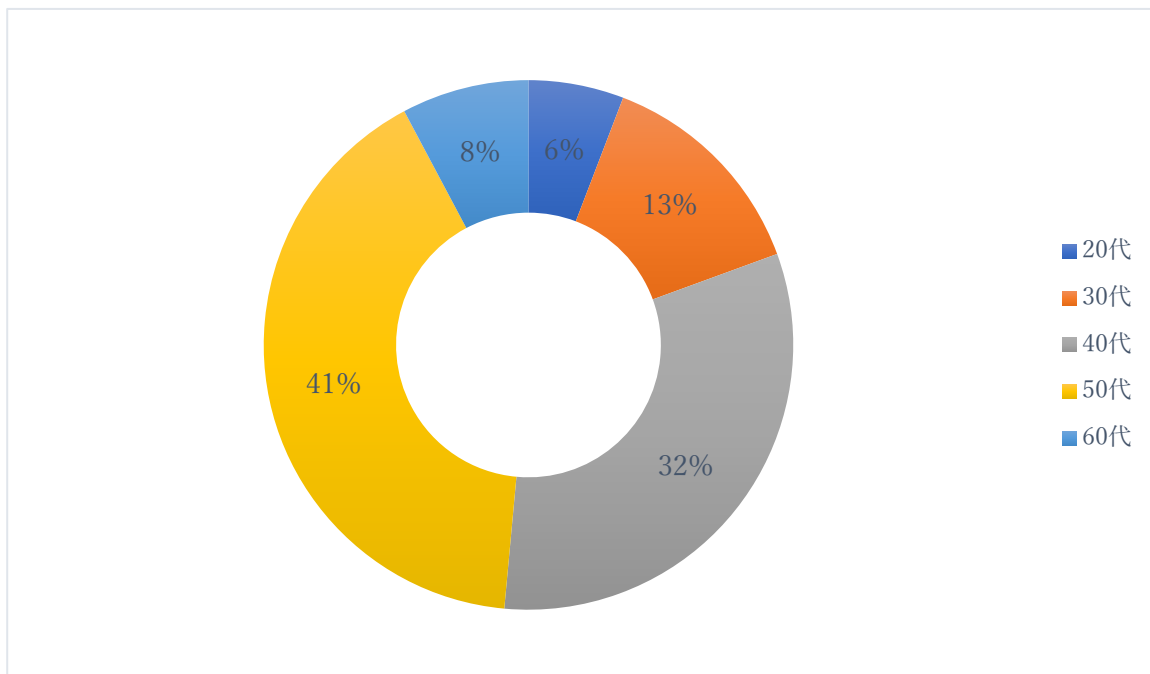


ACPってナニ?! アンケート

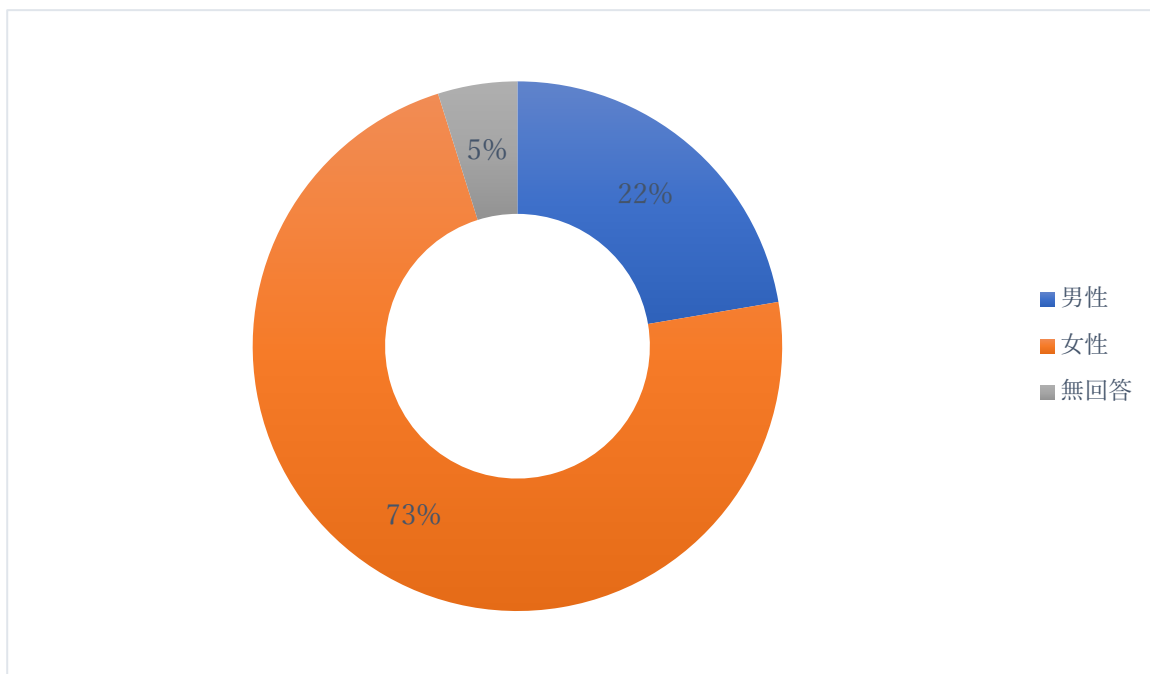
《127名参加 103名回答 回答率81.1%》

1 基本情報

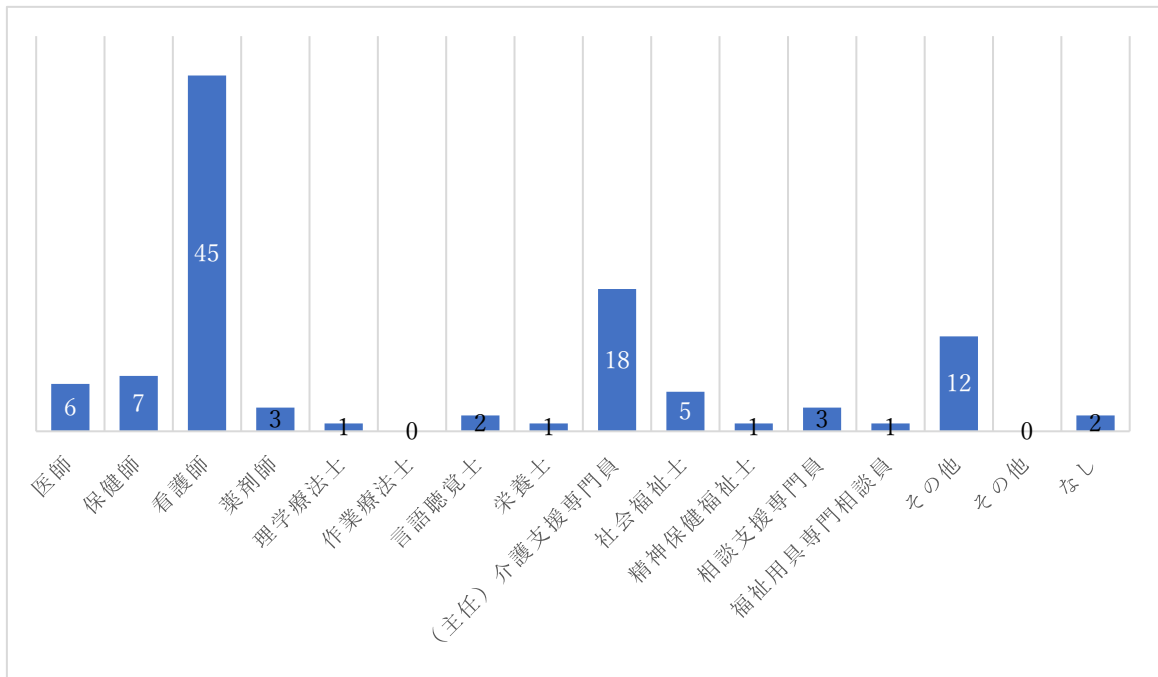
① 年代



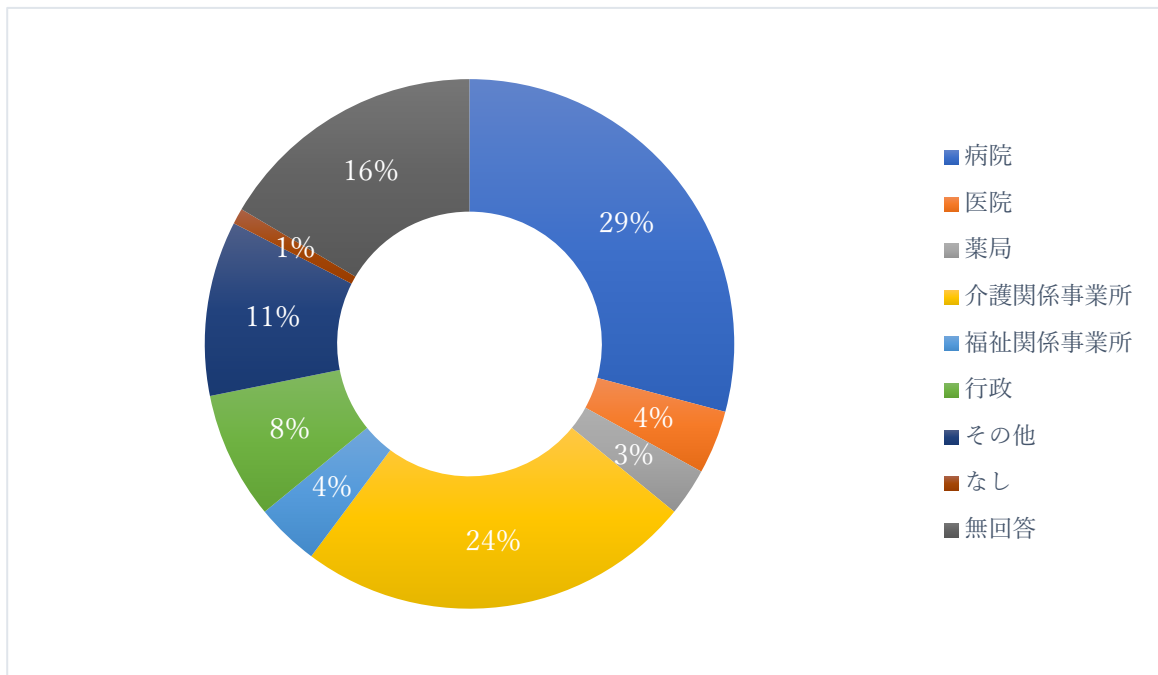
② 性別



③ 職種

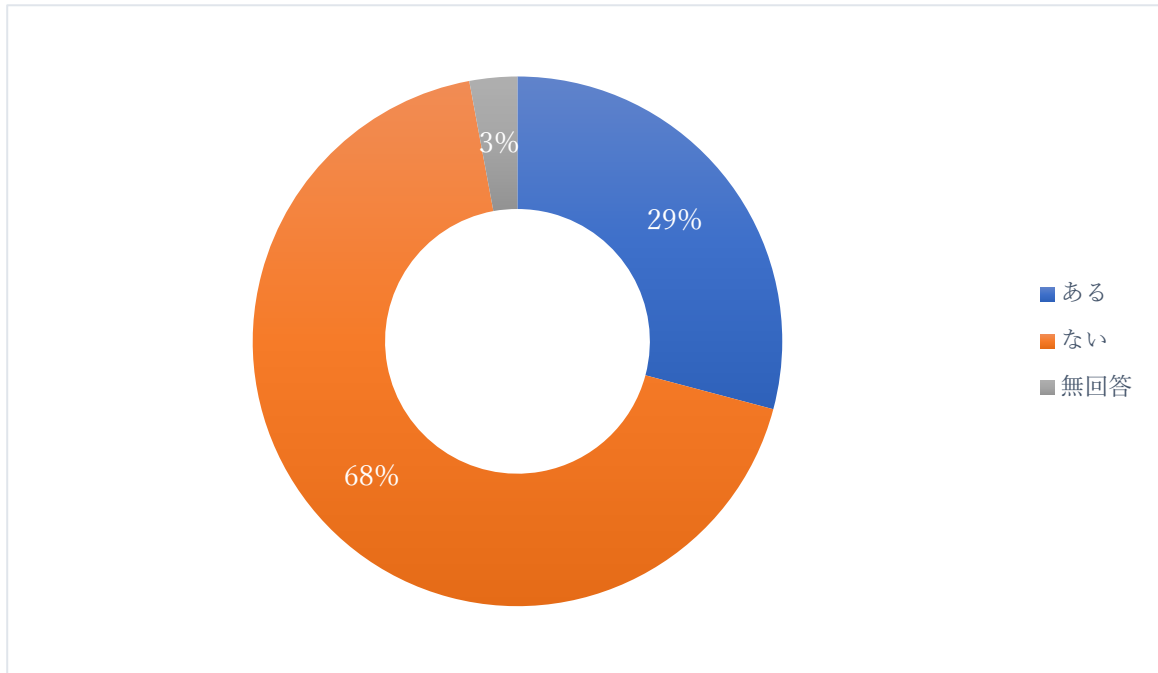


④ 所属

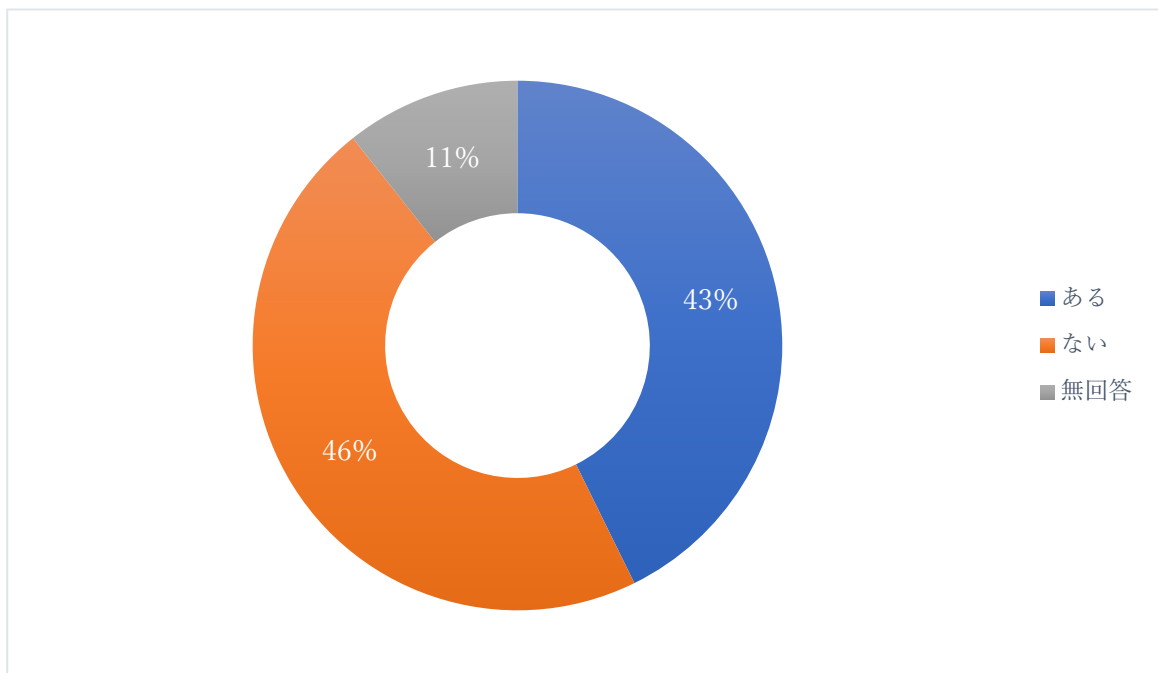


⑤ ACPIに関する経験の有無

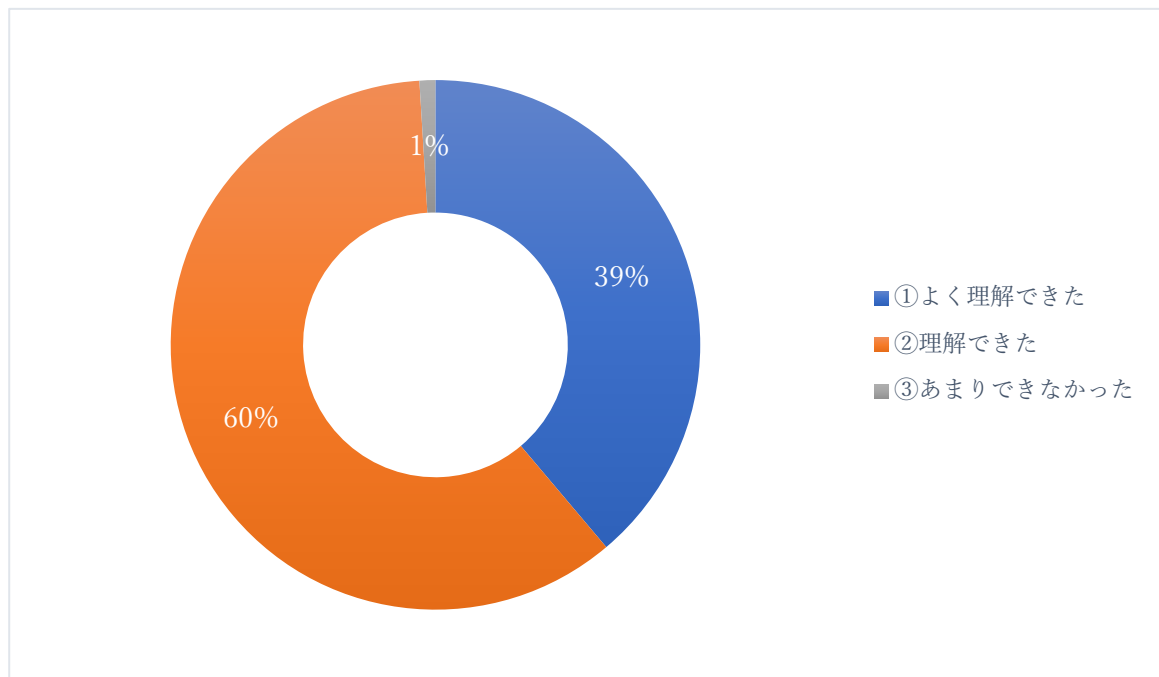
(1) ご自身のご家族の関係で



(2) 日頃の実践の関係で



2 第1部：「ACPってナニ?!」を理解することができましたか。

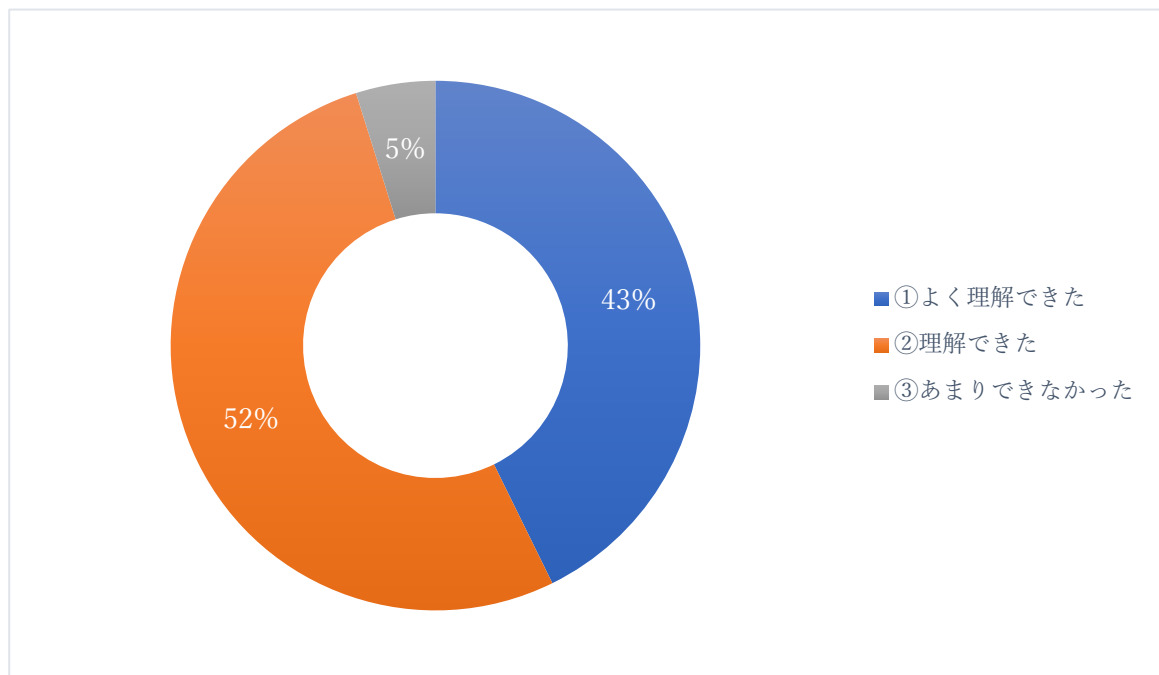


(理由)

- もう少し講義の時間が長いと良かった。ペースが早かった。
- 概念を理解することができた。どんな状況の時にどんな事をするか、しないのか、考え方をわかりやすく教えていただきました。
- かみくだいて、わかりやすく説明していただけたので
- 本当に大切な情報は何か？考えること
- ACPの現場で立ち会うことはあったが、これで良いのかと悩むことがあった。具体的に事例を見ての内容で理解が深まった。
- 説明と同意は良く使用していますが、その場になってみないと気持ちが変わる事。本人が言葉で意思決定を発しても、本来のACPでない事が良くわかりました。
- 意思決定はその時にならないとわからないんだという事に気付かせていただきました。
- 理解を深めることができました。
- 話し合いのプロセス。本人の生き方、感じ方を理解していることが大事なんだとわかりました。ACPIについてネガティブな感情をもっていたのですが、ポジティブに考えられるようになりました。
- いつも聞く内容とはまた違って、心が洗われました。
- ご本人の情報を適宜適切に集め、本人をとりまく人は家族だけでない事
- 金城先生の講義がとてもわかりやすかったです。動画もとても考えさせられる内容でした。
- 「プロセス」ということがよく分かりました。
- 今まで全く知らないことだったので、わかりやすい解説でよく理解できました。とても大切なことに気づけてよかったと思います。
- 医師は体系的に医療倫理を学ぶ機会が少ないと思います。とても勉強になりました。
- あらためて話し合うのではなく、日常生活の中でも話し合いをしていく。
- 十分ではないが基本は理解できた様に思います。
- 理解したつもりだが、実際に活用してみないとわからない。
- 理解できたと思うが実践に活かせるか努力を要すると感じた。

- 事前指示とは…DNARとは…今まで思っていたことではなかったとよく理解しました。
- 分かりやすい説明で理解できました。
- ACPIについては今回初めて研修を受けました。理解できたかはわからないが、相手への向き合い方、家族との話しの大事な事を知りました。
- グループメンバーがとても良いめぐりあわせでした。ありがとうございました。
- ACP、ACPと言っていたが、理解しているようで理解していなかった。
- ACP、AD、リビングウィルの違いについて、ACPが何なのかが分かった。
- 分かりやすい説明で、実際に照らし合わせて考える事ができた。
- 特に話し合いのプロセス。
- ②と③の間くらい理解でした。
- ICや事前指示との関係の説明があって、理解しやすかった。
- 本人、本人の大切な人とよく話し合うことが大事だということを知ることができた。
- 多くの情報を得ることで、本人の思いを想像することができた。日頃から話し合うことの大切さを学んだ。
- 日頃の相談業務から何かしらにつなげていくプロセスを色々想起した。あれはOK対応だったか、あれはNGだったな、など反省もできた。
- ある程度
- 理解できたと思っても、カード式で視点のずれを感じたところです。もう少し学んでいきたいと思います。
- 他の講演などでACPIについて聞いた時に難しいなと感じたことが今日の講演ですんなり落ちた感じがしました。
- ICの進化形で、本人の意志をしっかりと確認し、その代弁者をしっかりと確認することが大切だということが理解出来たから。

3 第2部：「カード式で学ぶ共同意思決定」を理解することができましたか。



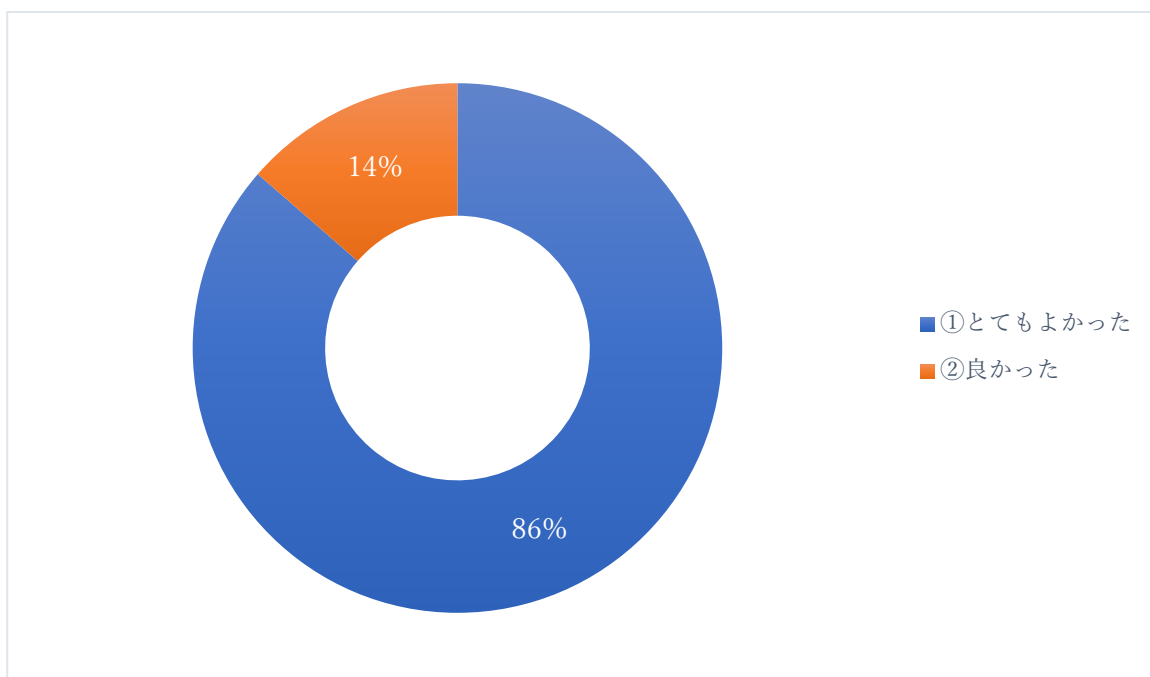
(理由)

- なんとなく感じた。わかった程度。深めるにはもう少し回数が必要。
- 多種職からの視点で学ぶことができた。情報、わかったつもりにならない様に。
- 普段の利用者とのかかわり方。質問方法など振り返ることができ、改善点も見えてきました。

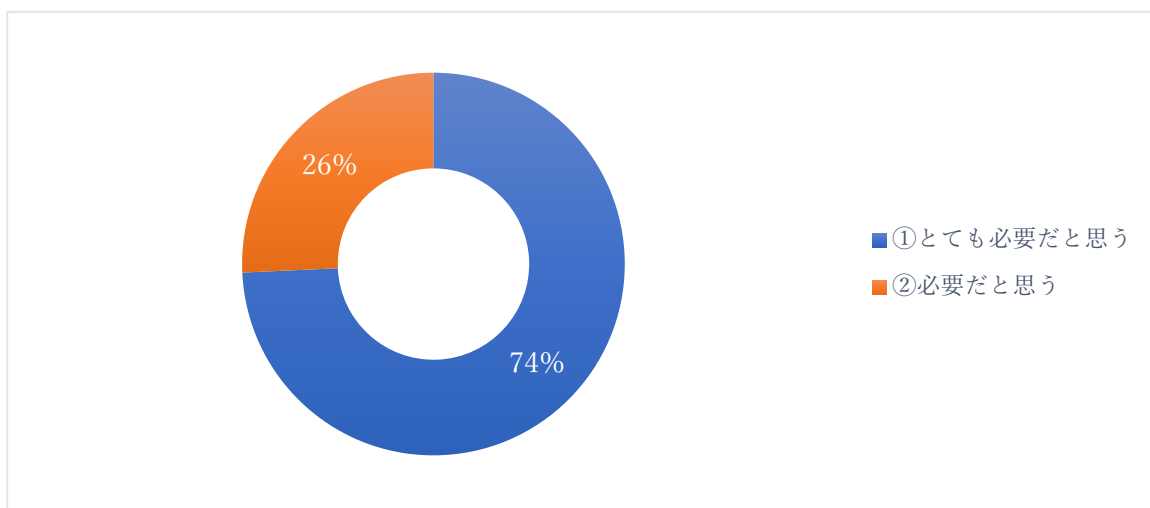
- 色んな視点から必要な情報をとることや、患者の思いを聞いて、大切なことは何なのかを考えることが大切だと思っただ。
- 進行の理解に(ACPを考える上で)時間がかかったため、この方法の利点がよくわからなくなった。
- 職場では時間がとれません。
- 会議等において、おおざっぱな質問をしてきたと反省です。
- 情報収集の大切さ、多職種 多くの人達が集まることの大切さ。
- 難しい面もありましたが、話し合いが活発にできて楽しかったです。
- はじめて参加する方法で新鮮で楽しかったです。どこにスキマ(?)があるか考えて日常で実践していけるように努力したいです。
- 情報収集の仕方を見直すきっかけとなった。ご本人の生活の意向を考えながら、どこまで情報をとったら良いか知る。
- 実際にワークすることで、理解しやすかったです。
- なかなか難しかったです。でも肩の力を抜くことの必要性も感じました。もっと試行錯誤をしつつ、実践していきたい。
- 具体例を囲んだディスカッションで良い学びになった。
- 1人1人が持っている情報をよりよく提供をできるための質問方法や先入感を持たずに収集することの重要性を学べた。倫理的な視点からも話し合いできることを学んだ。
- グループワークの振り返りが良かった。
- 情報が十分集められず、何が大事かを考える大切さを感じた。
- 理解はできたが的確な答え方が難しかった。例えば、お孫さんの情報を引き出すためにする質問の仕方、情報の集まり方にも違いがあると感じた。
- ナラティブを重視する必要性を感じた。
- 今回初めてでしたので、今後何度も体験することができれば、もっと理解できるかなと感じました。
- 普段の凝り固まった思考や経験値の積み上げ方に気を付けないといけないと感じました。
- 相手を知らない所から、情報収集はとても難しかった。しかし今までの担当者会議は情報があつたから、考えも違つたと思つし、経験が邪魔をしていたように思いました。
- ふだんもこのように時間をかけられたのなら幸せなのに…と思います。
- 持っている情報で満足していなかったか、振り返ることができた。
- 答えはないか考えるプロセスが大事ということが再認識できた。
- 自分の考え方のクセが分かつた。
- 必要な情報とその根拠を考え集約する必要があると分かつた。
- 分かつたつもりになっている事が多々あつた。楽しかつた。(結末がわからない)
- 関係者で深堀りしながら課題と解消等を出していくプロセスを学べた。
- カード式で学ぶことで、自分たちが思い込みで判断して決めていることや、いかに必要な情報に結びつく質問をするかということを考えることができた。
- 質問を引き出すのが難かつたが、分かりやすかつた。最後の「問いかけて欲しい」は専門職として、忘れないようにしたいと思います。
- 自分の傾向や違つた視点をもつことができた。
- すぐく頭を使ったけど、こうやつたら困難事例もよりよい支援が考えられるかも。
- 人と会話して、よりよい話しを見つけていく大切さと楽しさを感じました。

- いつものくせが出たと感じています。困難と思われるケースだとしても、何がこの中で困難なのか、また、本人の思いを大切にしていくことを学びました。
- 質問することの難しさを実感出来た。
- 関係者のもつ様々な情報を、本人の希望解決のために。
- 楽しかったです。
- なかなか体験できない機会でした。
- 伏せておかなければならない情報があり、大変だった。
- 情報収集の方法、インタビューの仕方が本当に重要だということが理解出来たから。
- 方法の説明をもう少し聞いてから始めたかった。時間が足りなかったー。

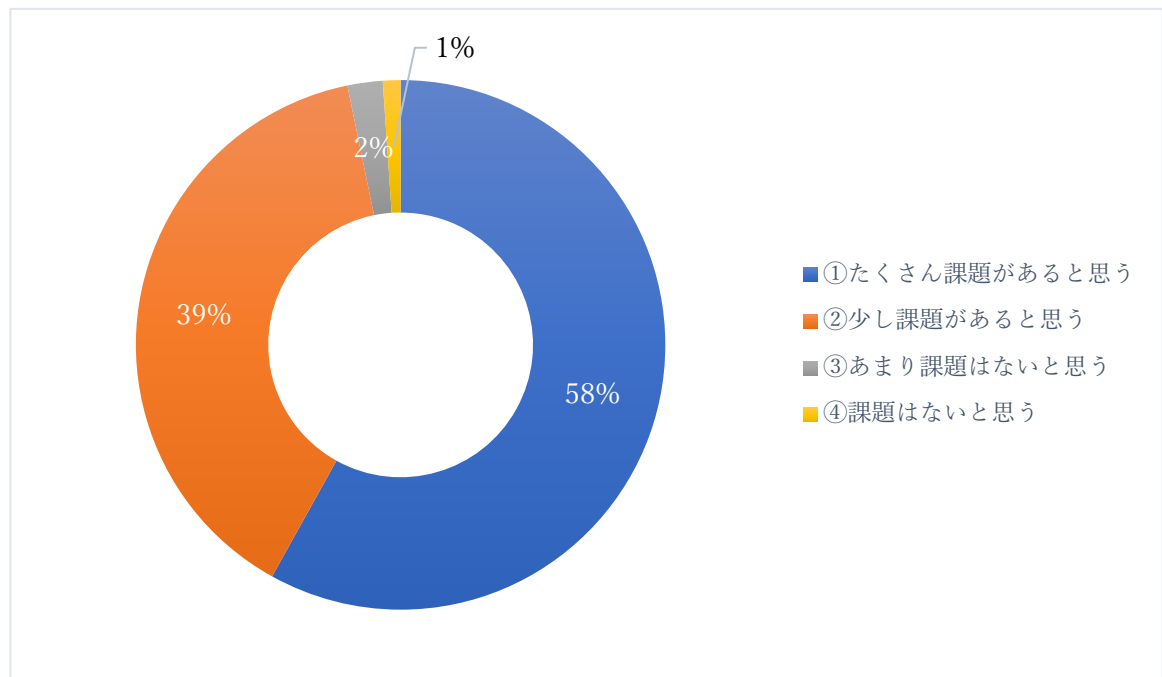
4 今日全体の感想をお聞かせください。



5 本法人では、病院・施設・在宅などの生活・療養の場に関わりなく、本人の意思決定に基づく医療やケアが受けられる体制づくりが必要だと考えていますが、本日の研修会を踏まえてあなたはどのようにお考えをお聞かせください。



6 本日の研修会で学んだことを、この釧路で実践する上で課題はあると思いますか。



(理由)

- 勉強不足
- 意識格差。相手のレベルが低い高い等と言っていたら、いつまでもチームケアはできないと思う。その利用者を支える方向性(同じ方向)を向くことが大事、それがレベルなのではないでしょうか？
- 市民全員に理解を深めて、あたりまえとしてもらいたい。
- いつも限られた時間で情報を引き出すのは大変だが、情報を取る事が一番のカギなので、間違った情報や思い込みにならないよう生かしていきたいです。
- まだ医療者側中心で決定している現状の中、NSとして家族や本人とのかかわる時間が必要だと思った。
- まだ、釧路の現状を理解していません。
- 多職種の熱意←足りてる?? もっともっと共同、協同、協働できる風土、市民の参加をもっと促すこと。釧路を住みやすい町にしたいという熱意
- 本人の意思決定にもっと早い時期から取り組むという風調がなかった。
- 各院なり、施設でもっともっと学習する必要があると思います。
- 独居の高齢者、老々介護、生保受給率の高さから経済的問題、情報が行き届いていない。(家族が遠方(釧路からみんな出て行ってしまふ。))
- ACPIについて話す
- 患者さんを知った気にならないで、患者さんと対話をつづけて行きたい。
- 他市町村より聞かせて頂きましたが、今後の課題解決のきっかけになり得ると思います。
- 病院ではまだ、本人が置き去りになることが多いから・本人の意思決定に対して、踏み込めないことが多々ある。
- ACPIについての正しい理解がされていない。(医師、NS)
- 相手(利用者)との出会いを大切にすること。知った事柄の意味をよく考えること。頭をやわらかくする。
- ACPを知らない人がたくさんいる。
- 全ての専門職同士でこの考え方が共有できるか、理解を得られるか？実際の支援の中で、この考えに基づく支援の協力を得られるか？

- 柔軟な考えを持っているか？古い体質。
- 医師の理解が得られにくいこと。急性期病院と訪看、介護職との関係がまだまだ希薄である。
- まだまだ横のつながり、相互理解が必要だと思いました。
- 理解していない人がまだまだ多いと思うので、多くの方が理解をして医療やケアが受けられるようになると良いと思っています。
- 地域での交流が閉鎖的である。
- まだまだ知られていない。もっと広めて研修を重ねないとむずかしそう…
- 研修などに参加してくれない人が多いです。そういう人たちにも共通認識していただくことが、とてもむずかしいと思います。冷めた人も多いのです。
- 広くこの知識がすべての関係者に浸透するのが、課題だと思う。
- (連携相手)相手の受け止めは様々であると思うが、本人が望んでいる事をベースに考えて、話しをすることで相手の(連携相手)ハートにも届くのではないかと感じるので、これからもアプローチしていきたい。
- 釧路に限らず深掘った実践をするには時間もかかるので、何かテクニックや効率的なやり方が必要。
- ACPの考えをもっとたくさんの人に広げるようにしていく必要があると思いました。
- まだまだ他施設との関わりが少ない。
- 医療者も市民も同じような認識が必要だと思う。
- 共通理解のもと、集まる必要があると思います。・今後も利用者のため、自分のために一緒に考える場がもっと欲しいです。ありがとうございました。
- 本人の決定を支援できる環境作り
- 主体性が乏しい。わが事としてもっといろんな関係者が意識や思いをもって専門性を発揮したら、釧路でよりよく暮らすことは可能だと思う。がんばってほしいです。応援しています。(転勤がなければもっと関わりたかったです。)
- 色々ありすぎて(個人のキャパシティが小さいので)考えがまとまりません。すみません。
- かなり連携はできていると思いますが、内容を考えてみる必要があると思いました。
- 自分自身が患者の希望や患者の希望を分かっている人についての情報を持つこと。推測した情報は思い込みではなく、本当にそうなのか、情報を持っている人はいないか明らかにするようにする。
- 分野、制度の隔たり、慣習などに負けずに発言をしていく大変さを感じました。
- 支援者となり得る 1 人 1 人が、偏った考えに固執せず、様々な可能性をご本人の望みを中心に話し合うことの積み重ねで、どこの地域でも実践できると思いました。ありがとうございました。
- もっと学ばなくてはならないと思いました。
- もう少し顔の見える関係をもっと進める必要がある。
- 情報収集の仕方に課題があるから、他職種の連携がまだまだ足りない。
- 医療、福祉の関係者のみではなく、一般市民の方にも広く周知していく為には時間がかかると思う。又、そういう機会を沢山設けていく必要があると思う。
- こういう機会を定期的に複数回やること。